

Armonia Plus バージョン 2.3.2.73 リリースノート

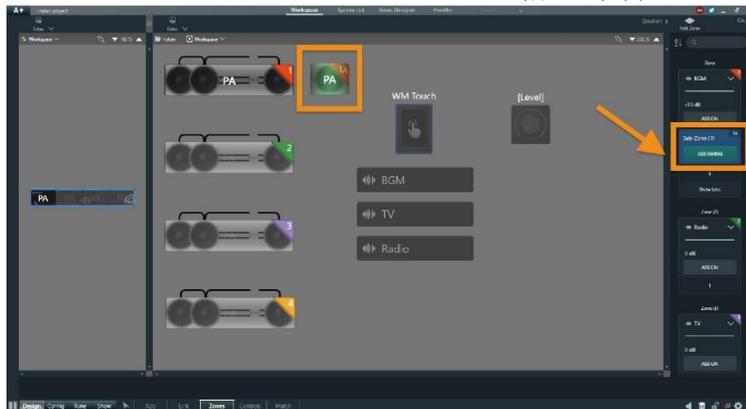
May, 2022 年リリース

株式会社オーディオブレインズ
2022 年 5 月吉日

新機能

*インストールモードにサブゾーン機能が追加

ゾーンにアサインしたスピーカーを、さらに細かく区分けして操作できるサブゾーン機能が追加されました。これによりスピーカーまたはスピーカーのグループのレベルをより細かく制御できるようになりました。



*インストールモードにレベルコントロールのリミッター機能が追加

特定のゾーンまたはサブゾーンの最小および最大レベルを設定できるようになりました。



*Views Host のリダンダント機能が追加

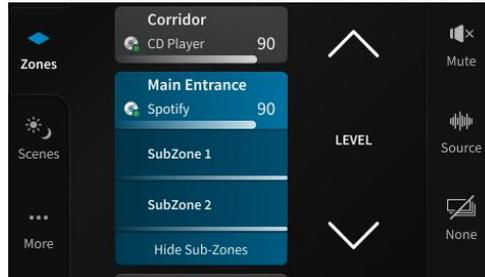
複数の Views Host デバイスがネットワーク内にある場合、システムは自動的に Views Host を決定します。万が一、Views Host デバイスにエラーが発生しても別のデバイスが Views Host として機能するようになります。

これは、WM Touch が Ver1.2.0 以降、PC Views Host が Ver2.0 以降で機能します。

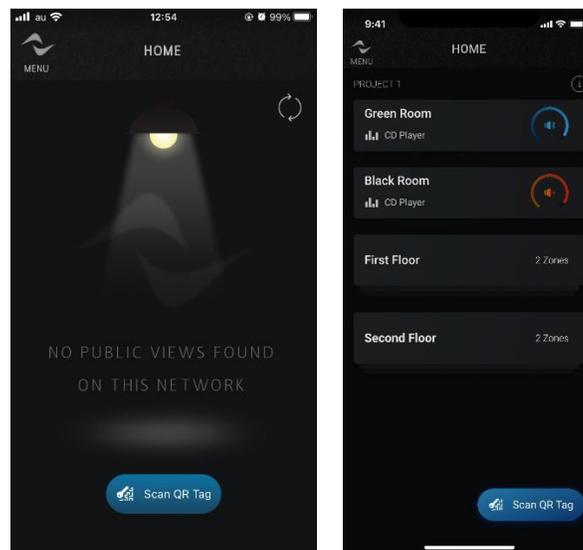
*インストールモードに GPI を介したシステムスタンバイ機能が追加
アンプの GPI を介して、システム全体のオン/オフを切り替えることができるようになりました。



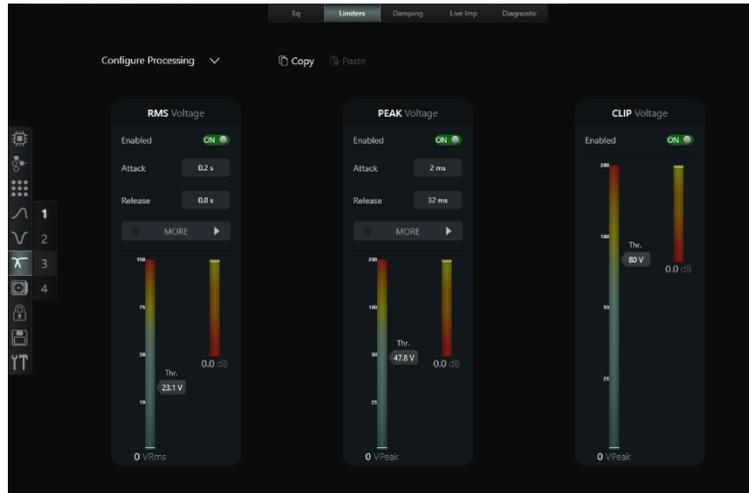
* WM Touch の操作性の向上
長押し操作によるレベル調整ができるようになり、シーンのリコールがより操作しやすくなりました。
またゾーンのミュートとレベルコントロールの操作が分離され、個別に制御できるようになりました。



*SYS Control アプリ V2.0.0 のリリース
アプリのデザインが一新され操作性が向上しました。ゲストモードが追加されました。
※SYS Control アプリ V2.0.0 は Armonia Plus 2.3 以降のシステムでのみ機能します。
Armonia Plus 2.2 以前のシステムは操作画面に表示されませんので、アプリと共にシステムのアップデート作業を行ってください。



*リミッター設定のデザインが変更
X-DSP モデルのリミッター設定画面のデザインが変わりました。



*新しいアンプモデルのサポートが追加されました。

バグの修正

- *デバイスの検出時に ArmoniaPlus が予期せずクラッシュする原因となっていたバグを修正。
- *一部のデバイスが誤って「エラーの再接続」ステータスを表示する原因となっていたバグを修正。
- *ネットワーク設定が自動的にリセットされるバグを修正。
- *一部のスピーカープリセットの不適切なロードを引き起こすバグを修正。
- *ArmoniaPlus の起動時に OperatorView コントロールをアクティブにできないバグを修正。

リリースにバンドルされているファームウェア

- * Mezzo シリーズ: 1.5.0(New)
- * T シリーズ: 1.11.0(New)
- * X シリーズ: 1.11.0(New)
- * X4 L: 1.11.0(New)
- * Ottocanali, Quattrocanali, Duecanali DSP + D: 1.11.0(New)
- * Quattrocanali: 2.0.2
- * IPAL, MDrive: 1.8.6
- * WM Touch: 1.2.0(New)
- * PC ViewsHost: 2.0(New)

※新しいファームウェアは Armonia Plus2.2 以前のバージョンでは通信できません。